

日時：令和8年3月18日（水）10：00～11：30

場所：Web 開催

議事概要：

<議事（1）安全目標値及び安全指標に係るフォローアップ・アクション（FA）実施状況について>

（概要）

令和7年度の評価及び令和8年度の国の安全目標値等について、航空局の案のとおり了承された。

（主なご意見）

○ 羽田事故を踏まえた制度改正について、具体的にどういった取組を行っていくのか。またグランドハンドリングの事故について、若手のみならず熟練者による事故も少なくないと指摘されているが、こうした状況を踏まえ、今後どのような対策を取っていくのか。

→ 航空法施行規則や関係通達を改正し、空港の制限区域内の事故を未然に防ぐための措置を空港管理者に求め、そのための協議会をグランドハンドリング事業者も構成員に含めて組織することという規定を追加した。また、発生した事案に応じて、グランドハンドリング事業者に対し国が直接調査を行いそれに空港管理者が協力するという制度も確立した。空港管理者は空港内でグランドハンドリングの営業を行う者に対して構内営業承認等を与えているが、その承認条件に上記のことを追加するよう、空港管理者に求めた。

グランドハンドリング協会は、事故件数が全体的には減らない中でも、事故発生件数が減少傾向にある事業者の取組を共有するなどの取組を始めたと聞いている。航空局としても、報告を求めている事故等の概要、原因把握・分析・再発防止策等をまとめた安全情報の共有・水平展開を全空港に対して行い、それを有効にご活用いただくことを促しているが、空港グランドハンドリング協会等の関係者と連携しながらどのような対策が効果的なのか考えていきたい。

○ 滑走路誤進入に関するFAはクローズとなるが、羽田空港における事故を踏まえた運輸安全委員会の事故調査等は引き続き続く中で、新しい原因や対策が今後発見される可能性もあると思われるところ、これに対してどのように対応するのか。

→ FAは全体の傾向を捉え、背景にある共通の要因等に対応することが主眼であり、FAの対象かどうかによらず、御指摘の羽田の事案を含め、個別の事案に対する再発防止

等の必要な対策は行っていく。

○ FAに関して、特に発生件数が少ない指標については、現在の標準偏差では、予兆を捉えにくいいため、次回のレビューの際によく検討いただきたい。

→引き続き勉強させていただきたい。

○ グランドハンドリングの事故について、事故件数が増加傾向にあることを真摯に受け止めながら、担い手不足の対策も含め更なる対策強化をお願いしたい。

→ 人手不足について、航空局として、職場環境改善や生産性向上・自動化による省力化等に取り組み一定程度効果が出てきていると認識している。今後も関係者と密に連携し、引き続き取り組んでいきたい。

○ グランドハンドリング業界では外国人労働者が増加傾向にあり、今後育成就労制度の対象となる可能性もある。外国人労働者とどうコミュニケーションとるかという点も重要。

→ご指摘の点については、どういう手法で行っていくかも含めて、検討させていただく。

<議事（２）「今後の航空安全管理のあり方に関する検討WG」における検討について>  
(概要)

「今後の航空安全管理のあり方に関する検討WG」における検討について、航空局より報告した。

(主なご意見)

○ SSP、NASPとも事業者の意見を取り入れていただき、良いものができた。未然に事故を防止するためには自発報告の分析が重要だが、現状は運航分野に比べ空港・管制分野の報告が少ないことに懸念があり、取り組んでいただきたい。

官民連携については、単なる情報共有の場ではなく、米国のCASTのように情報の分析から対策を打つまでのサイクルの中に位置付けるべきと思うが、いきなりそこを目指すことはハードルが高いことは理解するため、一步一步進めて欲しい。

→ 自発報告についてはどういったことができるのか引き続きご相談させていただきたい。また、官民連携について、できるところからまずは始めることが重要と考えており、引き続き議論させていただきたい。

(その他)

次回の技術・安全部会の開催については、事務局より改めて連絡する。(航空局)

以上